

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 25 年 2 月 28 日 (2013.2.28)

【公開番号】特開 2011-155361 (P2011-155361A)

【公開日】平成 23 年 8 月 11 日 (2011.8.11)

【年通号数】公開・登録公報 2011-032

【出願番号】特願 2010-14227 (P2010-14227)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/225 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 1 月 9 日 (2013.1.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 2】

またデジタルスチルカメラ 1 には、リリースボタン 3 1 a 以外の各種のキー、ダイヤル等の操作子 3 1 b が設けられる。

例えばズーム操作、モード選択、メニュー操作、メニュー上のカーソル操作、再生操作などのための操作キーやダイヤル等である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 9】

なお、ここでは、雲台 1 0 の各部の動作電力は上記電源端子部 t - V i n を介してのみ供給されるかのように示しているが、実際には雲台 1 0 には、電池の装着部が設けられ、該装着部に装着された電池から各部の動作電力を供給することが可能に構成されている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 8】

まずデジタルスチルカメラ 1 側において、撮像記録制御部 8 1 は、撮像により得られた画像を画像信号のデータ（撮像画像データ）として得て、この撮像画像データを記録媒体に記憶するための制御処理を実行する部位である。また撮像記録制御部 8 1 は、記録した静止画データの再生、表示動作、或いは撮像時のスルー画の表示動作等のための制御も行う。

即ち撮像記録制御部 8 1 は、図 7 の光学系部 2 1、イメージセンサ 2 2、A / D コンバータ 2 3、信号処理部 2 4、エンコード / デコード部 2 5、メディアコントローラ 2 6、表示ドライバ 3 2 等の制御を行う。即ち、光学系部 2 1 のレンズ駆動制御、イメージセンサ 2 2 の撮像動作、撮像信号処理、記録再生処理等を指示し、静止画撮像を実行させるなど、デジタルスチルカメラ 1 の基本動作を制御する機能部位である。

【手続補正 4】**【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0 1 1 0****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0 1 1 0】**

多重パノラマ画像とは、チルト方向を変えて例えば2周回の撮像を行うことで、水平方向だけでなく垂直方向にも広い画像を得るものである。

図13(a)に雲台10に設置されたデジタルスチルカメラ1を示している。まず雲台10に、実線矢印で示すように1周のパンニングを実行させながら、デジタルスチルカメラ1で多数のフレームの撮像画像データの取り込みを実行させる。

さらに続いて、破線矢印で示すように、2周目のパンニングを実行させながら、デジタルスチルカメラ1で多数のフレームの撮像画像データの取り込みを実行させる。

この場合に、1周目と2周目で撮像視野のチルト位置を変化させる。例えば図13(b)に示すように、1周目のパンニングのときと、2周目のパンニングのときとは、チルト方向を、一部が重なる程度にずらすようにする。

そしてデジタルスチルカメラ1では、1周目及び2周目での撮像画像を合成してパノラマ画像データを生成する。

【手続補正 5】**【補正対象書類名】図面****【補正対象項目名】図 1 1****【補正方法】変更****【補正の内容】**

【図 1 1】

